

ヒシャクゴケ科

オヤコゴケ

Schistochilopsis cornuta (Steph.) Konstant.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… ー

■ 県内分布

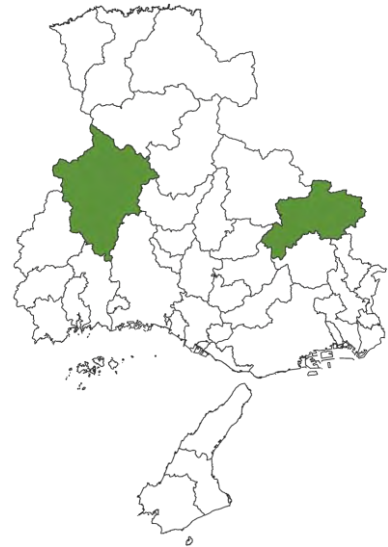
宍粟市、丹波篠山市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

報告以来、再発見されておらず、現状不明。旧学名 *Lophozia cornuta* (Steph.) Hatt.あるいは *Massula cornuta* (Steph.) Schljakov. ツボミゴケ科に含め、タカネイチョウゴケ属 *Lophozia* とする見解も広く採用されている。

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

植物体は淡緑色でよく目立つ。茎は長さ1cm。葉はゆるく重なり、不等に2裂して二つに折れ、キールには翼がでる。背側の裂片はやや立ちあがり、鋭頭で縁には1-2個の歯がある。腹側の裂片は舌形で鋭頭、縁に1-数個の歯がある。腹葉はない。葉身細胞は薄壁、トリゴンが小さく、表面が平滑。油体は各細胞に30-60個、球形、均質。雌雄異株。無性芽は緑色。おもにブナ帯の土上、倒木上等に生育する。